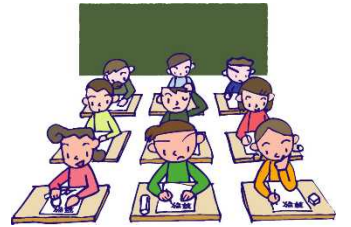


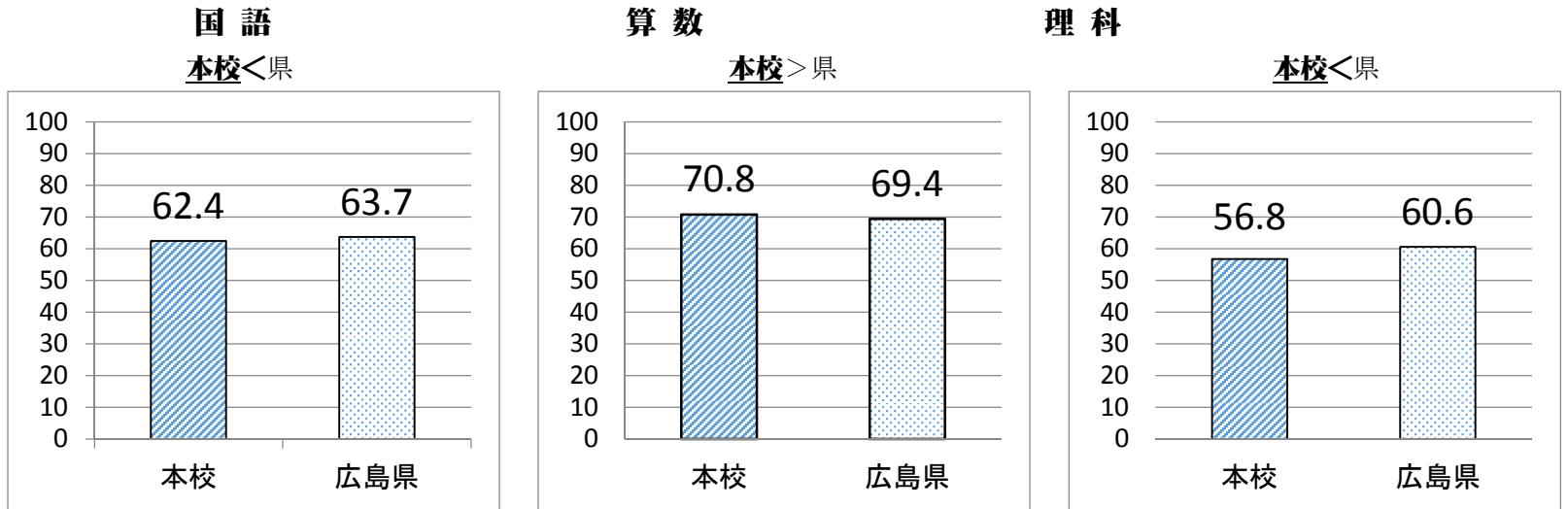
学力調査



■広島県「基礎・基本」定着状況調査

(1) 趣旨：本調査は、毎年6月に第5学年を対象に実施している広島県独自の学力調査です。「読み・書き・計算」などの基礎的・基本的な知識・技能がどの程度身についているか、色々な情報を基に考える力や、自分の考えを表現する力がどの程度身についているかを調査するものです。

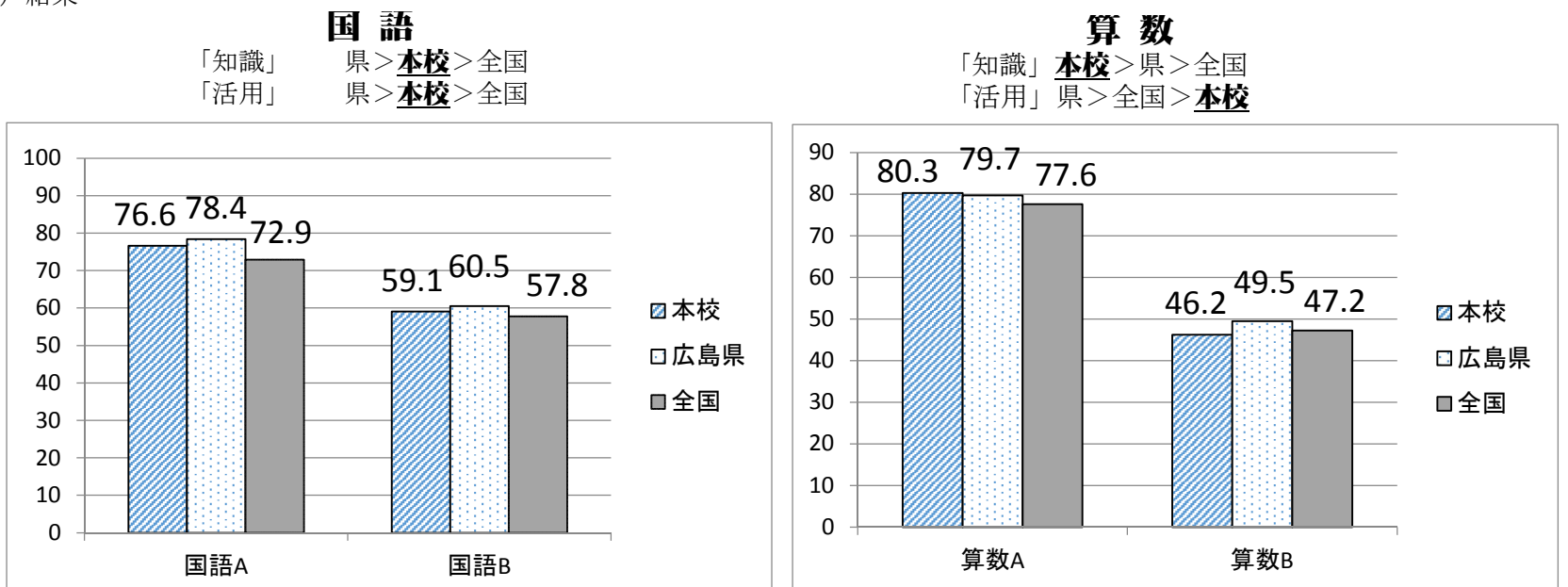
(2) 結果



■全国学力・学習状況調査

(1) 趣旨：本調査は、毎年4月に、義務教育の水準の維持向上を図るために第6学年を対象に実施している全国規模の学力調査です。調査内容は、主としてA「知識」に関する問題と主としてB「活用」に関する問題で構成されています。

(2) 結果



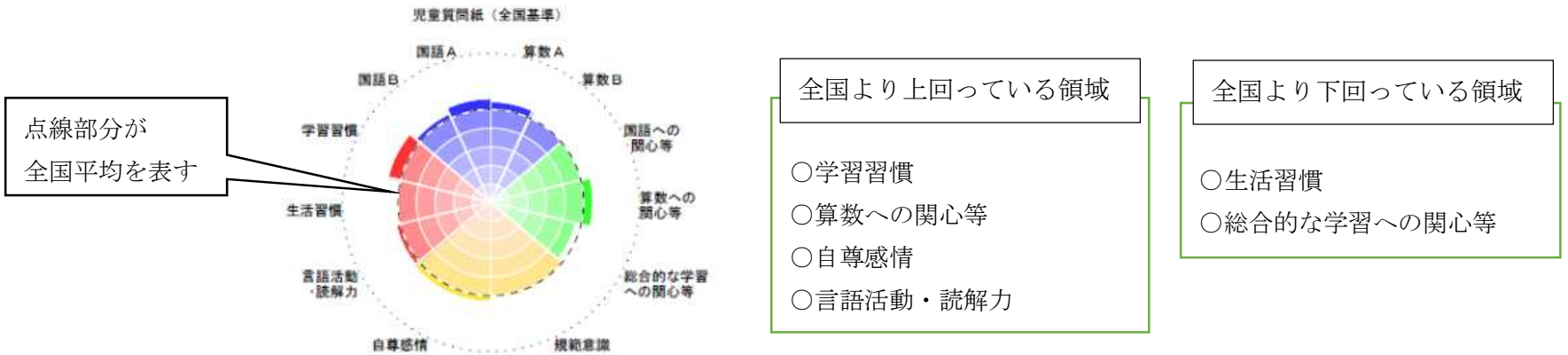
■学校が取り組む各教科の3ポイント改善

国語	算数	理科
<ul style="list-style-type: none"> ① 文章全体から中心となる語や文を把握し、条件に合わせてまとめる力を付ける学習を重視します。 ② 図表やグラフなど複数の情報の中から必要なものを取り出し、説明する活動を取り入れます。 ③ 自分の考えを明確にし、紹介する相手や目的に応じて表現するための方法について指導します。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 適切な方法を選択する学習を行う中で利便性を実感させ、理解を図る学習を展開します。 ② 日常生活の場面を適切な式に表したり、式で用いられている数値の意味を具体的な事象と関連付けたりする学習を展開します。 ③ 本校が研究している誤答分析をもとにした教え直しを徹底し、個別の課題に対応します。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 発見した課題に対して観察・実験を行い、それらをもとに結論を導く「問題解決」の学習を徹底します。 ② 理解した内容を論理的に記述することができるようにするため、単元テストごとに記述問題を実施します。 ③ 教師の演示実験だけでなく、子供達一人一人が実験にかかわれるような環境づくり・授業づくりをします。



「学ぶ力」の土台の実態

学力調査では、「学ぶ力」の土台として、学習意欲・学習方法・学習環境・生活習慣等について質問紙による調査も行っています。下記は本校の結果を全国と比較したものです。



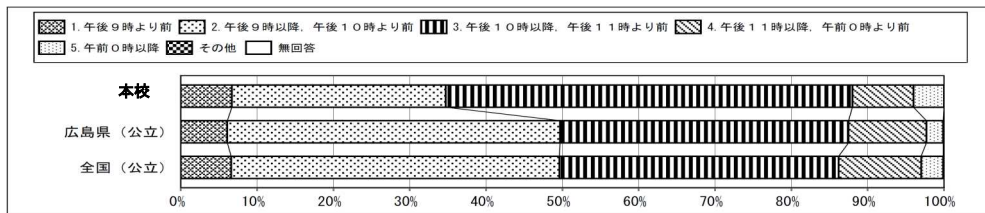
全国を下回っているもののうち、「総合的な学習への関心等」については、総合的な学習の単元計画の直しを行い、自ら課題を見付け解決していく「課題発見・解決」の活動が展開できるように取り組んでいきます。ここでは、「生活習慣」等の家庭での過ごし方と関わりがあるものを取り上げてお知らせしたいと思います。

====家庭での過ごし方====

※全国学力・学習状況調査(6年生の実態)より

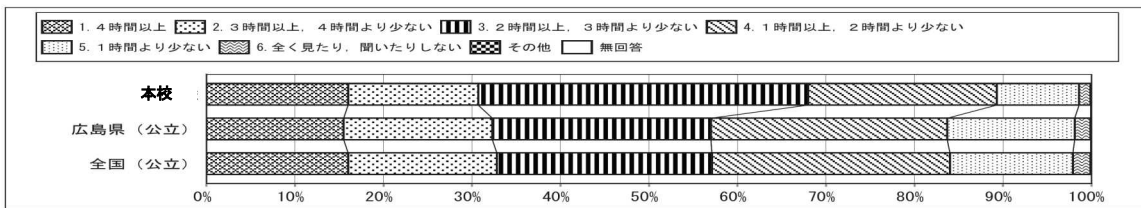
❖生活習慣を見直す

Q 普段（月～金曜日）、何時ごろに寝ますか



平日に午後10時以降に就寝している児童の割合が多く、テレビ等を見ている時間が長い傾向があります。

Q 普段（月～金曜日）、1日当たりどのくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりしますか

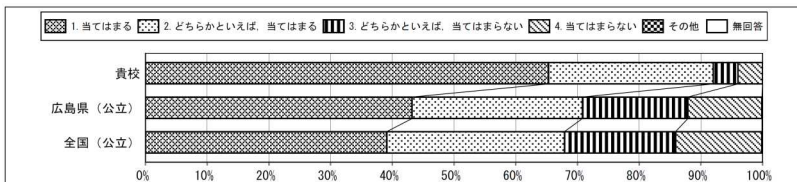


9月に生活チェックカード等を用いて、児童自身が意識できるような取り組みを進めていきます。ご家庭でのご協力もよろしくお願いいたします。

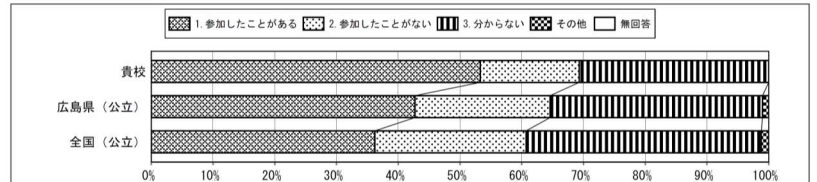
❖社会との接点をつくる

学校で学んだことが、自分の生活を豊かにしていることにつながっていることや、人々の生活に役立っていることを実感するためには、社会との接点を持つ機会が重要です。また、新聞やニュースなどに興味を持ち、社会の情勢を知り、社会と自分とのつながりを考えることも大切です。

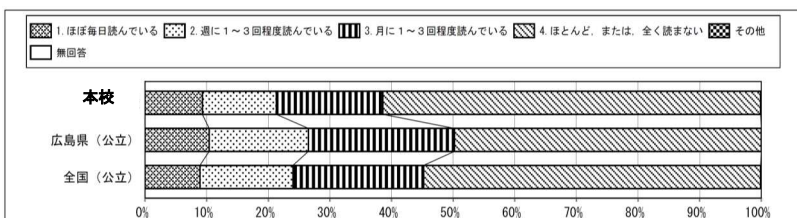
Q 今住んでいる地域の行事に参加していますか



Q 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか



Q 新聞を読んでいますか



地域の行事やボランティア活動に参加している児童の割合が多い一方で、新聞を読んでいる児童が低い傾向があります。